

前回「クルージングを楽しむ」の拙文を読んでもらった会員がら、私共が参加したニュージーランド・オーストラリアクルージングと同じコースに参加されて、大変楽しかったと帰国后感想を私までつたえてくださった。さて、私は念願とおり2008年10月5日～19日に東部アメリカとカナダの紅葉とプリンスエドワード島を訪ねるクルーズに参加することが出来た。

この度は、セレブリティ・コンステレーションという10万トンクラスの船でニューヨークから乗船してアメリカ/メイン州ポートランド→カナダ・プリンスエドワード島シャーロットタウン→ケベック→モントリオール→イースタントウンシップ→ケベック→カナダ・ノバスコシア州・ハリファックス→アメリカ・メイン州・バーハーバー→ニューヨークという15日間の行程である。

丁度、「赤毛のアン」が誕生して100年ということで、乗船前にあわただしくモンゴメリーの原作をとりあえず読んでの参加であった。作品の舞台になったシャーロットタウンは歩いて廻れるようなコンパクトな町で、アンの家グリーンゲイブルスも丁寧に保存され、物語を彷彿とさせられた。

今回の旅は、東部アメリカとカナダの紅葉を観る旅でもあったが、船でセントローレンス河を遡上して訪ねたケベックと沿岸の見事な紅葉の景色、2日の停泊間を利用してのイースタントウンシップの紅葉、特に宿泊したホテルの2階デッキから見た地平線まで続く高原の紅葉は正に絶景であった。また、船でなければ行かれないような町々、特に今回訪れたハリファックス郊外のアンティークの村マホーン・ベイなどは、村の小さな入り江に多くの小島が浮かび、水辺に3つの教会が並んで影を落としている光景は息を呑むような美しさであった。

食欲の秋で寄航した港のシーフードレストランで大きなロブスターを茹でてオリーブ油を付けて食べるランチには堪能した。特にバーハーバー島で食べたロブスターとデザートブルーベリーパイは絶品であった。この店に入場待ちで並んでいるときに、この店のブルーベリーパイを是非食べなさいと道行く人に勧められたが期待にたがわぬ味であった。このような出会いも旅の楽しみの一つである。

クルーズ船は夫々特徴があり、新しい出会いを求めてそろそろ次の計画を模索しているところである。



「赤毛のアン」の家・グリーンゲイブルスの前で



マホーン・ベイのレストラン、ロブスターのランチ



クルーズ船、セレブリティ・コンステレーション